学校番号	１２０１

令和 ５年度　家庭科

教科	家庭	科目	食生活	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・食生活では、フードデザインで学んだことを基に、学習を進めます。
・食生活の現状を理解し、食生活を総合的にデザインする力と技術を身につける科目です。食生活を取り巻く現状、成り立ちや背景も含めフードデザインの内容をより発展させて学習し現代の食生活やらこれからの食生活のあり方を考えましょう。
・調理実習や簡単な食品実験を通して、食生活を営む上で必要な知識や技術、創造力を身につけていきましょう。
・和食、中国料理、西洋料理におけるテーブルマナーなども実践して身につけます。
・食物調理技術検定の２級、１級にチャレンジします。

2　学習の到達目標

栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する基本的な知識や技術を習得させ、自分の生活を見据えながら、食生活を総合的にデザインする力と態度を育てる。また、文部科学省後援の「食物調理技術検定」を活用し、確かな調理の知識と技術を身につけさせる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	健康で安全な食生活に関心を持ち、献立作成や調理実習、実験などに意欲的に参加し、主体的に食生活を営もうとする態度を身につける。	栄養や食品の特徴から、調理を科学的な観点から捉え、科学的根拠も踏まえて、調理の順序や方法について考え、献立等を作成しようとしている。	献立作成や調理技術、テーブルコーディネートなどにおける基礎基本的な技術を身につけ、今後の食生活で応用できる。	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する基礎的基本的な知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習の記録 レポート 実習等の活動の観察 レポート　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習の記録 レポート 実習等の活動の観察 筆記テスト 実技テスト レポート　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習の記録 レポート 実習等の活動の観察 実技テスト レポート　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習の記録 レポート 実習等の活動の観察 筆記テスト レポート　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	健康と食生活	○食事の意義と役割 ・なぜ食べるのだろうか ○食を取り巻く現状 ・自分の食生活を振り返ろう ・食の外部化・社会化 ・これからの食生活 ○食物調理技術検定2級	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○ ○ 	a. 現代の食生活の問題点、改善点について考えている。食事のテーマにふさわしい食卓の整え方、周囲の環境づくりについて考えている。 b. 自分の食生活の問題点や課題、自給率の変化や食料輸入、食品ロスなどの現状を把握し、確かな食生活を営むためにはどうしたらいいのかを自分なりに考え、まとめている。 c. 現代の食生活の問題点、改善方法の情報を収集することができる。 d. 現代の食生活の変化の背景、食生活の多様化とそれにともなう利点や問題点などを理解している。	授業観察 プリント 実習記録 実習観察 レポート
2学期	調理と献立	○ライフステージと食事計画 ・食事摂取基準 ・食事バランスガイド ・ライフステージと栄養 ○献立作成 ・献立作成の留意点 ・献立作成 ○調理実習	 ○	 ○ ○	 ○	 ○ ○ ○ ○	a. ライフステージにおける栄養素の特徴を知り、それぞれのライフステージに応じた食事計画について考えている。 b. からだと栄養の働きを理解し、各ライフステージごとに適した食事計画について判断することができる。 c. 食品基準を理解し、効率的な栄養素の確保や調理法を考えるなど、ライフスタイルにあった食事計画や献立作成ができる。 d. 各ライフステージの栄養について理解している。	授業観察 プリント 実習記録 実習観察 レポート 定期考査

3学期	豊かな食生活をつくる	○国民運動としての食育の推進 ・食生活を見直すための取り組み ・家庭、地域、企業における食育の推進	○	○	○	○ ○	a. 食育について主体的に考えている。 b. 家庭や地域における食育について、それぞれの時代の問題点について考えを深めている。 c. 近年の食生活の実態情報を収集・整理することができる。 d. 食育基本法など法律の目的や概要を理解している。	授業観察 プリント 実習記録 実習観察 レポート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。